

令和7年度 秋冬期におけるチャ冬芽耐凍性獲得温度(曾於地域)

本データは、志布志市有明町、曾於市末吉町の現地茶園から採取した切り枝による人為凍害処理調査の結果です。

さえみどりの耐凍性の高まりが遅いようです。例年サンプリングしているほ場の秋整枝日が10月下旬と遅く、冬芽の形成が遅れていることに起因するものと思われます。

12月1日採取切枝 人為凍害検定結果(上位芽)

		品種名	-3.0℃ 被害度 (被害芽率%)	-5.0℃ 被害度 (被害芽率%)	-7.0℃ 被害度 (被害芽率%)	耐凍温度 LT10
志布志	野神	ゆたかみどり	0.04(17%)	0.10(25%)		-5℃
		さえみどり	0.10(33%)	0.79(100%)		-3℃
		やぶきた		0.00(0%)	0.83(92%)	-5℃
曾於	丸山	さえみどり	0.04(17%)	0.13(25%)		-4℃
		やぶきた		0.00(0%)	0.19(33%)	-6℃

●秋冬期の冬芽の凍害対策

早生品種(「ゆたかみどり」、「さえみどり」、「あさつゆ」)や中切りした「やぶきた」等では、秋冬期に凍害を受けやすく、芽つぶれを起こす茶園がみられます。

- ・秋冬期の防霜が必要な期間は、初霜期から平均気温が10℃を恒常的に下回る12月末まで。
- ・防霜ファンの稼働開始温度の設定は、耐凍温度(LT10)より2～4℃高めで設定して下さい。

耐凍性調査の耐凍温度と被害度・被害芽率の関係について

- 耐凍温度(LT10)

検定温度での被害度が0.1以下となる温度です。

- 被害度

被害度を1.0(生長点まで全損傷), 0.5(生長点は損傷なし), 0.25(一部が損傷), 0(被害なし), の4水準とし, 調査芽数に占める比率で算出します。

$$\text{被害度} = \frac{(1.0 \times \text{芽数}) + (0.5 \times \text{芽数}) + (0.25 \times \text{芽数})}{\text{調査芽数}}$$

- 被害芽率

被害度にかかわらず調査芽数全体に占める比率で算出します。

$$\text{被害芽率} = \frac{\text{被害芽数}}{\text{調査芽数}}$$